

“音楽都市こおりやま”市民音楽祭主催行事
けんしん郡山文化センター 市民コンサートホール
(公財)福島県文化振興財団助成事業
第8回ウィーン・フィル & サントリー音楽復興祈念賞

安積合唱協会

ASAKA Chorverein

第27回 定期演奏会

27th Regular Concert

ASAKA
Chorverein

<http://www.asakachorverein.com>

<https://www.facebook.com/AsakaChorverein/>

<https://twitter.com/AsakaChorverein/>



Program

プログラム

本日はお忙しい中、第27回定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。
今年も多くの皆様のご支援により本日の演奏会を開催できますことはこの上ない喜びであり、ご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

今年は東日本大震災から10年という節目の年でもあり、これまで演奏活動を続けてくることができたのは、偏に、当協会を支えてくださいます多くの方々の温かいご支援とご協力の賜であり、あらためて深く感謝申し上げます。

当協会は、1992年の結成以来、中世・ルネッサンス・バロック時代の甘く美しい教会音楽や古今東西の名曲を中心に演奏活動を続け、これまで、定期演奏会のほか、合唱コンクールやアンサンブルコンテスト、県内外の合唱団の方々との共演、さらには、ドイツ、オーストリア、フランスでの海外公演など幅広い演奏活動を重ねてまいりました。

昨年は、平成から令和へ、新しい時代の幕が開き、今回は令和最初の定期演奏会となります。

令和に込められた beautiful harmony を創造できるよう、今年も、安積合唱協会メンバー一人一人の心を寄せ合って、心ひとつに美しい響きを築いてまいります。

本日は、第1ステージおよび第2ステージで、ビクトリア、ジェズアルド、シベリウス、プーランクなど、ルネッサンス期やロマン派・近現代を代表する作曲家による様式感溢れる作品をお届けするほか、第3ステージでは、ミュージカル・映画音楽の名曲を、そして最終ステージでは、日本を代表する現代音楽の作曲家・三善晃の作品をお届けします。

いずれの曲もまさに古今東西を代表する名曲であり、皆様にも馴染みの曲もあろうかと思しますので、どうぞ最後までお楽しみください。

新しい時代とともに、私たち自身がこれまで以上に元気に演奏活動を展開し、絆で結ばれた仲間とともに美しいハーモニーを創り上げ、皆様に届けていくことが、合唱王国「ふくしま」の復興の軌跡になるものと信じています。

これからもメンバー相互そして皆様との絆を大切にしながら、これまで築き上げてきた演奏スタイルを基本に、優れた音律(チューニング)と各声部の完璧な調整(ブレンド)を備えたオンリーワン合唱団を目指して、安積合唱協会らしい響きを紡ぎ、つなぎ、そして伝えてまいりたいと思います。

最後に、本日の演奏会にあたり、ご来場いただきました皆様、協賛団体、賛助会員はじめ関係者の皆様に重ねて御礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

安積合唱協会



2019年2月24日 第26回定期演奏会より

第1 ステージ

ルネサンス期の音楽

- Ave Maria (a 4) 4声のアヴェ・マリア [Tomás Luis de Victoria (1548~1611) 曲]
- Ave Maria (a 8) 8声のアヴェ・マリア [Tomás Luis de Victoria (1548~1611) 曲]
- Mille quingentis verum bis sex minus annis /Requiem aeternam
1488年/主よ死者に平安を [Jacob Obrecht (ca. 1458~1505) 曲]
- In monte Oliveti オリーブ山にて [Carlo Gesualdo da Venosa (ca. 1566~1613) 曲]

指揮: 宍戸 真市

第2 ステージ

ロマン派・近現代の音楽

- Ensam i dunkla skogarnas famn 暗い森での孤独
[Emil von Qvanten (1827~1903) 詩、Jean Sibelius (1865~1657) 曲]
- Messe en sol majeur ミサト長調より [Francis Poulenc (1899~1963) 曲]
- Kyrie
- Gloria

指揮: 宍戸 真市

第3 ステージ

お楽しみステージ: ミュージカル・映画音楽から

- 女声合唱 映画「サウンド・オブ・ミュージック」より 朝の讃美歌〜ハレルヤ
[Oscar Hammerstein II (1895~1960) 詞、Richard Rodgers (1902~1979) 曲]
- 男声合唱 ミュージカル「レ・ミゼラブル」より 民衆の歌
[Claude-Michel Schönberg (1944~) 曲、岩谷時子 (1916~2013) 日本語詞]
- 女声合唱 ミュージカル「キャッツ」より メモリー
[Andrew Lloyd Webber (1948~) 曲、浅利慶太 (1933~2018) 日本語詞]
- 混声合唱 ディズニー映画「アラジン」より ホール・ニュー・ワールド
[Alan Menken (1949~) 曲、湯川れい子 (1936~) 日本語詞]
- 混声合唱 映画「サウンド・オブ・ミュージック」より すべての山に登れ
[Oscar Hammerstein II (1895~1960) 詞、Richard Rodgers (1902~1979) 曲]

ピアノ: 数馬 雅子
阿久津 光美
指揮: 宍戸 真市

第4 ステージ

三善晃の音楽 混声合唱曲集「木とともに 人とともに」

[谷川 俊太郎 (1931~) 詞、三善 晃 (1933~2013) 曲]

1. 木とともに 人とともに
2. 空
3. 生きる

ピアノ: 橋本 絵美
指揮: 宍戸 真市

日時/ 2020年2月23日(日) 13:30開場 14:00開演

場所/ けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター) 中ホール

主催/ 安積合唱協会

共催/ 郡山市、郡山市教育委員会、公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社

後援/ 福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、ラジオ福島、ふくしま FM、福島県合唱連盟、郡山市音楽連盟

第1ステージ

ルネサンス期の音楽

昨年同様、今回の演奏会も、まず最初にルネサンス時代の音楽をお届けします。年代でいえば1450年ごろから1600年あたりまでを西洋音楽のルネサンス時代といいます。この時代こそが合唱音楽のふるさとといっても過言ではないでしょう。今日の演奏会で歌われるどの曲も、そう、現代日本の三善晃の作品にしても、その淵源・源流をたどればこの時代に行き着くといってもいいでしょう。

ひとつの「声」がメロディーを描いているところに、また別の「声」がメロディーを重ねる。するとそこに「響き」が現れ、わたしたちを包み込みます。響きは瞬間瞬間にさまざまに色合いを変えていき、わたしたちを捉えて離しません。このような合唱の魅力が、ルネサンス時代に開花したといえます。作曲家たちはこの魅力を競って追い求め、おびただしい数の名曲が生まれました。本日はその中から4曲を選び出してお送りします。

ビクトリア「アヴェ・マリア」（4声）

まず、ルネサンス時代の名曲中でも特に親しまれている曲を歌います。スペイン出身のトマス・ルイス・デ・ビクトリア（Tomás Luis de Victoria 1548～1611）の「4声のアヴェ・マリア」です。

「アヴェ・マリア」は大天使ガブリエルによる聖母マリアに対する受胎告知を歌ったものです。「マリアよ、あなたは祝福されたのです、神の子を身ごもったのです」。ビクトリアはこの箇所を低めの音域で神秘的に、ひそやかに響かせます。やがて歌詞の内容が「マリアに対するわたしたちの祈り」に変わると、拍子も三拍子に変わり、音域も高まって切実さを表現しています。その対照の妙を味わってください。

〔歌詞はラテン語〕

Ave Maria,

めでたし、マリアよ

gratia plena, Dominus tecum;

恵みに満ちたお方、主はあなたとともに。

benedicta tu in mulieribus,

祝福されています、あなたは。女たちの中で。

et benedictus fructus ventris tui, Jesus Christus.

祝福されています、あなたの胎内の果実、イエス・キリストも。

Sancta Maria, Mater Dei,

聖なるマリア様、神の御母よ、

ora pro nobis peccatoribus,

祈ってください、罪深いわたしたちのために。

nunc et in hora mortis nostrae.

今も、そしてわたしたちの死のときも。

Amen.

アーメン

ビクトリア「アヴェ・マリア」（8声）

さて、同じシーンをビクトリアはもっと大がかりに作曲しました。合唱を2つに分け、その2つが対話を交わすように進む形になっています。それぞれが4パートの合唱ですので、あわせて8パートとなり、響きがとても豊かで、壮麗な感じがします。

〔歌詞はラテン語〕

Ave Maria,

めでたし、マリアよ

gratia plena, Dominus tecum;

恵みに満ちたお方、主はあなたとともに。

benedicta tu in mulieribus,

祝福されています、あなたは。女たちの中で。

et benedictus fructus ventris tui, Jesus.

祝福されています、あなたの胎内の果実、イエスも。

Sancta Maria, Regina coeli,

聖なるマリア様、天の女王よ、

Dulcis et pia, o Mater Dei,

優しく慈愛深いお方、神の御母よ、

ora pro nobis peccatoribus,

祈ってください、罪深いわたしたちのために。

ut cum electis te videamus.

選ばれた人々とともにあなたを拝見できますように。

オブレヒト「1488年に／主よ死者に平安を」

オブレヒト（Jacob Obrecht 1458頃～1505）は、現在のベルギー出身で、ルネサンス時代を代表する作曲家です。

ルネサンス時代はさらに初期、盛期、後期と分けられますが、オブレヒトは盛期ルネサンスに属しています。

「1488年に／主よ死者に平安を」は、彼の父が亡くなった際に、追悼の気持ちを込めて作曲された作品です。そしてこの曲は、非常に手の込んだ仕掛けを持っています。

楽譜を見ると、4パートのうち、テナーが特別な動きをしています。それどころか、歌詞が他と違います。「永遠の平安を与え給え」と、レクイエム（死者のためのミサ曲）の句を、ゆっくりと引き延ばして、スローモーションのように唱えていきます。

他の3パートは、テナーの太い幹から派生したように、細かい動きで「キリスト生誕後1488年に、ギヨーム・オブレヒト身まかりぬ」と、父の死を嘆いていきます。

こうして3パートが嘆きを、テナーが祈りを、同時に歌う形で曲が進んでいきます。このような曲の作り方は、ルネサンス時代にはよくあることでした。つまり、あるひとつのパートに「定旋律」と呼ばれるゆっくりと動くメロディー（そのメロディーはオブレヒトの創作ではなく、既存のものです）を置き、他のパートはそのテナー＝定旋律の周りを飾りたてるように音を配置していくのです。

今から見るとなんて回りくどいことをしているのか、と思われるかもしれませんが、曲を聴くと不思議な味わいがあります。車や電車に乗ると、近くの木々や田んぼは速く通り過ぎ去って

いくのに対し、遠くの山はゆっくりと動いていくでしょう。それと似たような感覚が感じられるかもしれません。

〔歌詞はラテン語〕

〔テナー以外〕

Mille quingentis verum bis sex minus annis

1000+500 から2×6を引いた年（1488年）、

〔テナー〕

Requiem

平安を

Virgine progeniti lapsis ab origine Christi,

聖母マリアの子、キリストの誕生から1488年後に、

aeternam dona

永遠の平安を与え給え

Sicilides flerunt Muse,

シチリアの音楽の女神（ミューズ）は泣き悲しんだ。

eis Domine.

彼らに与え給え、主よ。

dum Fata tulerunt Hobrecht Guillerum,

運命が奪い去ったのだ、オブレヒト・ギヨームを。

et lux perpetua

そして絶えざる光が

luceat

照らしますように

magna probitate decorum,

大いに誠実な好人物を運命が奪い去った。

eis.

彼らを照らしますように。

Cecilie ad festum,

（音楽の守護聖人）セシリアの祝日に、

Requiem aeternam

永遠の平安を

qui Ceciliam peragravit oram;

セシリアの岸を旅して回ったその人は、

（音楽家としてのキャリアを積んだことを示している）

idem Orpheicum Musis Jacobum generavit.

ミューズのために（昔の）オルフェウスやヤコブ（のように名曲）を生み出した。

（故人をいにしえの大音楽家になぞらえている）

dona eis Domine.

彼らに与え給え、主よ。

et lux perpetua

そして絶えざる光が

Ergo dulce melos, succentorum chorus alme,

されば、優しい歌を、寄り添ってくれる豊かな合唱隊よ、

luceat eis.

彼らを照らしますように。

Concine ut ad celos sit vecta anima

歌え、個人の魂が天国に運ばれるように。

Requiem aeternam

永遠の平安を

dona eis Domine.

彼らに与え給え、主よ。

et data palme. Amen.

そして栄光が与えられるように。アーメン。

et lux perpetua

そして絶えざる光が

luceat eis.

彼らを照らしますように。

ジェズアルド「オリーブ山にて」

ルネサンス時代の大きな特徴といえは、「バランス・均整の重視」といえましょう。作曲家は「形の美しさ」を求め、周到に計算して曲を設計していきます。そう、楽譜は設計図なのです。緻密な設計図が見事な建造物のもととなるように、正確な楽譜が美しい音楽を生み出します。

でも、音楽はそれだけでしょうか？ 心の叫び、突き動かされる情熱、そうしたものが音楽に作用したとき、形は歪んだとしても、そこに顕れるエネルギーが聴く者の心を揺さぶりはしないだろうか…ルネサンス時代も後期になると、そのような考えを持った作曲家が出てきました。

そのひとりが、イタリアで活躍したジェズアルド（Carlo Gesualdo 1566～1613）です。その生涯と音楽の両面で、非常に独特なものを持っています。一言でいえば変わり者です。

貴族の生まれ。妻の不倫現場に乗り込み、愛人もろとも殺害。再婚はしたものの、前妻の遺族からの報復を恐れたこともあり、疑心暗鬼に陥り、孤独で陰鬱な日々を過ごしたといわれています。

こんなキャラクターが音楽にも反映したのでしょうか、彼は独特の和声法（今風にいえばコード進行）を編み出しました。あまりにも前衛的な、突き抜けた表現は後の世代に受け継がれず、孤高の存在となりました。彼のような手法が一般的になってきたのは実に250年も後のロマン派の時代のことでした。

本日演奏する「オリーブ山にて」は、逮捕される前のイエスの言葉が歌詞となっています。運命を見通しながら、覚悟と迷いが交錯する心の内が巧みに表現されています。

〔歌詞はラテン語〕

In monte Oliveti oravit ad patrem:

オリーブ山で（イエスは）父なる神に祈った。

Pater, si fieri potest,

父よ、できることなら、

transeat a me calix iste.

わたしからこの盃（さかずき）を遠ざけてください。

Spiritus quidem promptus est

精神は確かに覚悟ができているが、

caro autem infirma.

肉体は弱い。

Fiat voluntas tua.

御心が叶いますように。

Vigilate, et orate,

眠らずに祈りなさい。

ut non intretis in tentationem.

汝らが誘惑に陥らないように。

Spiritus quidem promptus est

精神は確かに覚悟ができているが、

caro autem infirma.

肉体は弱い。

Fiat voluntas tua.

御心が叶いますように。

第2ステージ

ロマン派・近現代の音楽

ルネサンス時代の次に来るのが「バロック」で、およそ1600年から1750年くらいです。その次が「古典派」となり、だいたい1820年ごろまでです。「ロマン派」がそれに続き、1900年ごろを境に「近現代」へと移っていきます。それぞれの時代に合唱の名曲がいくつもあり、歌う者にとっては一生かけても汲み尽くせないほどの豊かな世界が広がっています。

このステージでは、ロマン派と近現代の時代の曲をお送りします。この時代の特徴は、作曲家個人の音楽観・世界観が作品に色濃く現れてくることにあります。例えば宗教曲にしても、以前の時代だと定石のようなものがあり、その枠内で作曲家が腕前を披露していたという面があったのですが、この時代になると作曲家自身の信仰のありようが前面に押し出され、作品を強く規定するようになってきます。簡単に言えば、作曲家の個性が際立っているということです。それではシベリウスとプーランク、2人の個性をお楽しみください。

シベリウス「暗い森での孤独」

シベリウス (Jean Sibelius 1865~1957) は、19世紀末から20世紀にかけて活躍した、フィンランドを代表する作曲家です。彼の作品で最も有名なのは交響詩「フィンランディア」です。当時ロシア帝国の支配下にあったフィンランド。独立の機運が高まってきた折に作曲・初演されたこの曲は、人々のフィンランドへの愛国心をかき立てました。その影響力を危惧したロシア当局は、この曲の演奏を禁止するほどでした。

この曲の中ほどに現れる賛美歌風のメロディーには後に愛国的な歌詞が付けられ、人々に親しまれました。1917年、フィンランドが独立を勝ち取ると、この歌はフィンランドの第二の国歌と呼ばれることになりました。

そんなわけでシベリウスは、フィンランドの国家的な英雄として尊敬を受ける存在となりました。ただ、そのことを彼がどう受け止めていたかは微妙なものがあったようです。音楽の分野で国を背負う、というのは気苦労も多いでしょうし、音楽を純粋に追究するには余計な重荷になったことも考えられます。そんな重荷を感じた時、彼は音楽を志した若い頃を思い出したかもしれません。

「暗い森での孤独」は、1888年、シベリウス23歳の時の作品です。「夜、暗い森の中を一人私は進む」と始まるスウェー

デン語(フィンランドではフィンランド語とスウェーデン語が公用語になっています)の詩は、まだ何者でもない青年が、樹木、花々、風、星といった自然と対話しながら思索を深めていく様子が描かれています。シベリウスの音楽も、若々しさの中に後年の個性の予兆も垣間見られ、ある種不思議な魅力をたたえたものとなっています。

(歌詞はスウェーデン語)

Ensam i dunkla skogarnas famn går jag enslig stig.

一人で、暗い夜の森で、私は寂しい道を進む。

Doften, rosor, doften, blommor,

香れ、バラよ、香れ、花々よ、

doften alla, vid stjernors ljus,

香れ、すべてのものよ、星の光の下で。

dofta, hjerta. dofta stilla i natten.

香れ、心よ、香れ、静かな夜に。

Ensam i gröna skogarnas lund går jag enslig stig.

一人で、緑の森の木立の中、私は寂しい道を進む。

Ja, sjungen skogar, sjungen grottor vid källors brus,

さあ、歌え、森よ、歌え、洞窟よ、泉の音とともに。

sjungen alla, vid månens ljus.

歌え、みんな、月の光の下で。

Sjung. mitt hjerta, sjung helt stilla i natten.

歌え、私の心よ、歌え、静かな夜に。

Ensam i mörka skogarnas djup går jag enslig stig.

一人で、暗い森深く、私は寂しい道を進む。

Vaknen, andar, i lundars sus,

目覚めよ、雲よ、木立のざわめきで。

vaknen alla, vid nattligt ljus,

目覚めよ、皆、夜のあかりで。

vakna hjerta, vakna stilla i natten.

目覚めよ、心よ、目覚めよ、静かな夜に。

プーランク「ミサ ト長調」より 「キリエ」「グロージャ」

プーランク (Francis Poulenc 1899~1963) は、20世紀のフランスを代表する作曲家です。製薬会社を経営する裕福な家庭に生まれ、早くから楽才を示しました。親の意向で音楽学校には進まず、独学や個人教授により作曲をマスターしました。彼の音楽は、無調などの当時の前衛的な動き(簡単にいえば、へんでこな音楽)とは一線を画したもので、調性音楽の枠にとどまりつつも、斬新な和声が特徴となっています。加えて、特に歌曲でよどみない流麗なメロディーが魅力となっています。

プーランクの作品は、声楽、室内楽、オペラ、バレエ音楽、オーケストラ曲を含むあらゆるジャンルを含んでいます。とりわけわたしたちが注目したいのは、合唱曲の素晴らしさです。プーランク自身、こう語っています——わたしが何か新しいものをもたらしたとするならば、それはまさにこの分野の仕事で

はないかと思います——。

合唱曲の多くは宗教曲です。1936年、彼は友人の事故死をきっかけに、キリスト教・カトリックの信仰を取り戻しました。その後、1937年に作曲されたのが「ミサ ト長調」です。ミサ曲はルネサンス時代よりもさらに前、中世から脈々と創られてきました。その長い伝統を意識しつつも、現代的な感覚でプーランクは歌詞(典礼文)に曲をつけています。

本日はミサ曲のうち、前半を構成する「キリエ」と「グロージャ」を歌います。ソプラノ・アルト・テナー・バスの4声部が基本ですが、かなりの部分がパート内でさらに分かれており、多彩な響きが織りなされていきます。

(歌詞はギリシア語)

Kyrie eleison:

主よ、あわれみたまえ。(何回も繰り返す)

Christe eleison:

キリストよ、あわれみたまえ。(何回も繰り返す)

Kyrie eleison:

主よ、あわれみたまえ。(何回も繰り返す)

(歌詞はラテン語)

Gloria in excelsis Deo.

天のいと高きところには神に栄光

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

地には善意の人に平和あれ。

Laudamus te. Benedicimus te.

われら主をほめ、主をたたえ、

Adoramus te. Glorificamus te.

主をおがみ、主をあがめ、

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

主のたいなる栄光のゆえに感謝したてまつる。

Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

Domine Fili unigenite, Jesu Christe.

主なる御ひとりごイエズス・キリストよ、

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

神なる主、神の小羊、父の御子よ、

Qui tollis peccata mundi,

世の罪を除きたもう主よ、

miserere nobis.

われらをあわれみたまえ。

Qui tollis peccata mundi,

世の罪を除きたもう主よ、

suscipe deprecationem nostram.

われらの願いを聞き入れたまえ。

Qui sedes ad dexteram Patris,

父の右に座したもう主よ、

miserere nobis.

われらをあわれみたまえ。

Quoniam tu solus sanctus. Tu solus Dominus.

主のみ聖なり。主のみ王なり。

Tu solus altissimus, Jesu Christe.

主のみいと高し。イエズス・キリストよ。

Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

Amen.

アーメン

第4ステージ

三善晃「木とともに 人とともに」

詩人・谷川俊太郎 (1931~) と作曲家・三善晃 (1933~2013) のコンビは、数多くの合唱曲の名作を世に送り出してきました。谷川の詩には、すでに「うた＝音楽」がうちに秘められています。三善はその音楽をすくい取り、響きの世界に一気に導き出します。

また、谷川の詩の特徴として、わたしたちがふつうに使う、日常的な、飾り気のない言葉を使いながら、はっとするような想いを、いつの間にかおもてに出すことが挙げられます。三善はそういうところを見逃さず、大事な言葉を強調するように作曲しています。

混声合唱曲集「木とともに 人とともに」は、3曲から成っています。組曲ではないので、この3曲を続けて演奏する必要はありません。歌詞の内容も互いに独立しています。でも続けて演奏すると、やはり一本の芯のようなものが浮かび上がってくるように思われます。この曲集の楽譜の序文に三善が書いている言葉がそれを表しているのではないのでしょうか——すべての「いのち」のために——。

1「木とともに 人とともに」

三善には東京・上野にある音楽の殿堂・東京文化会館の館長を務めていた時期がありました。在任中、「合唱の祭典・上野の森コーラスパーク」というイベントを立ち上げ、この曲はそのテーマ曲として作曲されました(1999年)。歌詞はこの曲のために谷川が書き下ろしたものです。

上野の森に響く歌声。人と人との声のふれ合いに、森の木々も共鳴する様子が描かれます。弾むような音楽が、歌うよろこびを、そして歌を通じて人や自然とつながるよろこびを表しています。

なく一心に祈っているように奏でています。三善自身が言っていますが、亡くなった友人たちを想いながらこのようにピアノの曲を書いているうちに、谷川のこの詩が頭に浮かんできて、歌のパートを後から入れたということです。なるほど、詩もさまざまな言葉が何度も繰り返されるなかに、あるイメージを啓示していくように読めます。そして最後に「生きるということ あなたの手のぬくみ いのちということ」が何度も唱えられるとき、この詩のテーマ、生きるとは他者とのつながりであり、いのちそのものであることが明らかになります。内面の深いところに訴える、肅然とした雰囲気を持つ曲です。

2「空」

大切なひとと離れている時間のさびしさをうたっています。「あなたはもうこの世にいないかのようだ」「いつも一緒にいたい」「早く帰ってきて」。ふたりの関係は詩を味わうひとりひとりの想像に任されています。そら＝空は大切なひとがいない空ろさ(うつろさ)を象徴しています。

この曲はもともと独唱曲として作曲されましたが、1997年1月の合唱団「松江」'97の委嘱により合唱曲に編曲されたとのこと。3曲のなかで最も早く創られたこととなります。

3「生きる」

「生きる」は1999年の大みそかから2000年の元旦にかけて作曲されました。この曲の正式なタイトルは「ピアノのための無窮連祷による 生きる」です。「無窮連祷」とは、休むことなく、ずっと祈り続けるという意味です。確かにピアノが休み



指揮者 宍戸 真市

Shinichi SHISHIDO

福島県福島市出身。1999年、国立音楽大学音楽教育学科音楽教育専修を首席で卒業。卒業時に岡本賞受賞。ピアノを内海咲子、小林美樹、岡田隆郎、声楽を伊藤勲、砂川稔、渡辺多津彦、指揮を今村能、小塚類の各氏に師事。

2006年、湯本高等学校に赴任。同校合唱部及び吹奏楽部の指導にあたる。

2007年、福島県合唱連盟60周年記念青少年合唱団のバスパートリーダーを歴任。

2010年、安積黎明高等学校に赴任。同合唱団を指揮し、全日本合唱コンクール全国大会で金賞5回(2011年 文部科学大臣賞)、銀賞2回、銅賞1回受賞。この間、Nコン全国コンクールに6回出場し、金賞・内閣総理大臣賞を1回、銀賞1回、銅賞2回、優良賞2回受賞。声楽アンサンブルコンテスト全国大会に4回出場し、いずれも高校部門で金賞を受賞、本選で総合3位1回、総合4位1回、入賞2回受賞。また、同校クラシック部を指揮し、全国学校合奏コンクール全国大会で奨励賞を受賞。さらに、同校吹奏楽部を指揮し、福島県吹奏楽コンクールで金賞2回、銀賞2回を受賞している。

2017年、福島県合唱連盟創立70周年記念青少年選抜合唱団(Fukushima Youth Choir)のバスパートリーダーを務め、ウィーン・ザルツブルクの欧州公演に参加した。また、安積合唱協会を指揮し、2012年全日本全国大会一般部門で銅賞を受賞。

2019年、若松商業高等学校に赴任。吹奏楽部の指導にあたる。

これまでに、教育文化関係・優秀教職員表彰(2017福島県教育委員会)、福島県合唱連盟表彰(2017福島県合唱連盟)、文部科学大臣優秀教職員表彰(2018文部科学大臣)、全日本合唱連盟東北支部表彰(2019全日本合唱連盟東北支部)を受賞。

現在、福島県合唱連盟事務局次長、福島県楽友協会合唱団理事、安積合唱協会常任指揮者。

ピアニスト 橋本 絵美

Emi HASHIMOTO

福島県郡山市出身。国立音楽大学付属音楽高等学校、および同大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピティナヤングピアニストコンペティションD級銅賞、同デュオ部門特級全国決勝大会入選。大学卒業後、ドイツのドレスデンにて研鑽を積み、現在は福島県内で後進のピアノ指導にあたっている。

これまでにピアノを加藤智子、進藤桃子、山本万里子、デッドレフ・カイザーの各氏に師事。ソロ、合唱伴奏・アンサンブルにも積極的に参加。

橋本ピアノ教室 (<http://www.mio-piacere.com/>)、会津大学短期大学部非常勤講師。



ヴォイストレーナー 紅林 美枝

Mie KUREBAYASHI

山形大学大学院教科教育専攻音楽教育専修声楽分野修了。二期会オペラスタジオ第45期マスタークラス修了。声楽を渡部昭子、藤野祐一、藤野恵美子、野村陽子、オルガ・ワルラ・コロの各氏に師事。

1995年、山形ジュニア音楽コンクール金賞グランプリ受賞。

1996年、日本クラシック音楽コンクール奨励賞受賞。

2001年、ソレイユ音楽新人オーディション合格。

2003年、ウィーン秋期特別アカデミー修了。

「山形交響楽団ニューイヤーコンサート」「二期会新進声楽家のタベ」「ベーゼンドルファーザール(ウィーン)コンサート」「楽都郡山ここに響くハーモニー事業“四季の風コンサート”」等に出演。

2018年、けんしん郡山文化センターにおいてリサイタル開催。

2019年、郡山市中央図書館レクチャーコンサート「グスタフ・マーラーとアルマ・マーラー」に出演。

またコールOMG(秋田県大館市)、安積黎明高等学校合唱団、福島県楽友協会合唱団、安積合唱協会等、数々の団体の演奏会等にアルトソリストとして出演している。

現在、郡山市内にて音楽教室を主宰。郡山女子大附属高等学校音楽科非常勤講師。二期会会員。

解説・対訳 酒井 道宏

高校在学中、高麗正宣氏より音楽世界に導かれる。その後、音楽の理論面(音楽史、美学芸術学、表象文化論)を戸口幸策、皆川達夫、海老澤敏ほか諸氏に、実践面(声楽、解釈法、指揮法)を宮下正、前田幸市郎、大谷研二ほか諸氏に師事。さまざまな合唱団からの依頼を受けて歌詞対訳や解説を手がけるなど、合唱音楽の理論と実践を掘り下げて融合させることをライフワークとして活動中。

安積合唱協会のあゆみ

1992(平成 4)年	5月	設立総会
1993(平成 5)年	3月	第1回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
	12月	第2回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
		第1回 海外公演(ウィーン、ザルツブルク、ミュンヘン)
1995(平成 7)年 ～2000(平成12)年	3月	第3回～第8回定期演奏会(郡山市内)
1999(平成11)年	1月	第2回 海外公演(マルセイユ、ラシオタ、アヴィニョン)
1999(平成11)年 ～2000(平成12)年		福島県合唱コンクール及び 全日本合唱コンクール東北支部大会出場(銀賞受賞)
2000(平成12)年	3月	特別公演(会津若松市・会津アピオ内(株)共立土建コンサートホール)
2001(平成13)年	3月	第9回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	9月	第55回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 金賞
		第54回 全日本合唱コンクール東北支部大会(盛岡市民文化ホール大ホール) 金賞
	12月	第10回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
2002(平成14)年	9月	第56回 福島県合唱コンクール(矢吹町文化センター大ホール) 金賞
		第55回 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 銀賞
2003(平成15)年	1月	第11回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第57回 福島県合唱コンクール(いわき市平市民会館大ホール) 金賞 高野賞
	9月	第56回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銅賞
2004(平成16)年	1月	第12回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第58回 福島県合唱コンクール(原町市民文化会館大ホール) 金賞
	9月	第57回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞
	11月	やまぐち県民文化祭アカペラフェスティバル招待演奏(秋吉台国際芸術村ホール)
	12月	海外公演記念演奏会(福島市音楽堂大ホール)
		第13回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
		第3回 海外公演(アイゼンシュタット、フォラウ)
2005(平成17)年	3月	法政大学アカデミー合唱団福島公演賛助出演(福島市音楽堂大ホール)
	8月	第59回 福島県合唱コンクール(喜多方プラザせせらぎホール) 金賞 三浦賞 福島県教育長賞
	9月	第58回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール) 銀賞
	12月	第14回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2006(平成18)年	9月	第60回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター大ホール) 金賞
	10月	第59回 全日本合唱コンクール東北支部大会(名取市文化会館大ホール)銀賞
	12月	第15回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2007(平成19)年	9月	第61回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール) 金賞
		平成19年度 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール)金賞
	12月	第16回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
		第24回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2008(平成20)年	3月	第1回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	6月	郡山市民合唱団定期演奏会賛助出演(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第62回 福島県合唱コンクール(南相馬市文化会館大ホール)金賞
	9月	第60回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞
	12月	平FG合唱団定期演奏会賛助出演(いわき芸術文化交流館アリオス音楽小ホール)
		第25回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2009(平成21)年	3月	第2回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	6月	第17回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第63回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
	9月	第61回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール)銀賞
	12月	第26回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2010(平成22)年	6月	第18回 定期演奏会(郡山市民合唱団賛助出演)(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第64回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	9月	第62回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール)銀賞
	12月	第27回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
2011(平成23)年	7月	第27回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール)総合3位(ルネサンス・バロック部門金賞)
	8月	第65回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂大ホール)金賞

2012(平成24)年	9月	第63回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞
	12月	第28回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	2月	第19回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
	3月	希望の歌声合唱フェスティバル2012(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)
		第5回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
	7月	第28回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール)ルネサンス・バロック部門銀賞、ロマン派部門銅賞
	9月	第66回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール)金賞
		第64回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール)金賞
	11月	第65回 全日本合唱コンクール全国大会(富山市芸術文化ホール オーバードホール)銅賞
	12月	第29回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
2013(平成25)年	2月	第20回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	3月	Harmony for JAPAN 2013(京都府長岡京市文化会館)
		第6回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
	7月	第29回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール) ルネサンス・バロック部門銀賞
	9月	第67回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
		第65回 全日本合唱コンクール東北支部大会(宮城県仙台市イズミティ21)金賞
	11月	第3回 ハーモニーコンサート(郡山市民文化センター大ホール)
	12月	第30回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銅賞
2014(平成26)年	3月	Harmony for JAPAN 2014(京都府長岡京市文化会館)
	4月	第21回 定期演奏会 振替公演(郡山中央図書館 視聴覚ホール)
	7月	第30回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール)ルネサンス・バロック部門銀賞
	8月	第68回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂)金賞
	9月	第66回 全日本合唱コンクール 東北支部大会(リンクステーション青森)金賞
	12月	第31回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞 全国推薦
		第5回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター大ホール)
2015(平成27)年	1月	安積合唱協会・京都バツハ合唱団ジョイントコンサート 第22回 定期演奏会(郡山市民文化センター大ホール)
	3月	第8回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	7月	第31回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール)ルネサンス・バロック部門出場
	8月	第69回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター)金賞
	9月	第67回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館)銀賞
	11月	第6回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター中ホール)
	12月	第32回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞 全国推薦
2016(平成28)年	2月	第23回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
	3月	第9回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
		Harmony for JAPAN 特別公演 口短調ミサ演奏会(東北大学100周年記念会館)
	9月	第70回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
		第68回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール)銀賞
	10月	2016希望郷いわて国体開会式(岩手県北上市)
	11月	京都バツハ合唱団特別演奏会 J.S.バツハ「口短調ミサ」(大阪市いずみホール)
	12月	第33回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銅賞
2017(平成29)年	2月	第24回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
	7月	第33回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール)
		ルネサンス・バロック部門出場、ロマン派部門出場
	9月	第71回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール)銀賞
	10月	第69回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール)金賞
	11月	第8回 郡山音楽フェスティバル(郡山市民文化センター中ホール)
	12月	第34回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
2018(平成30)年	2月	第25回 定期演奏会(郡山市民文化センター大ホール)
	9月	第72回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂大ホール)金賞
		第70回 全日本合唱コンクール東北支部大会(多賀城文化センター大ホール)金賞
	12月	第35回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(伊達ふるさと会館大ホール)銅賞
2019(平成31/ 令和元)年	2月	第26回 定期演奏会(けんしん郡山文化センター大ホール)
	7月	宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ベガ・ホール)ロマン派部門銅賞
	9月	第73回 福島県合唱コンクール(とうほうみんなの文化センター)銅賞
	11月	郡山音楽フェスティバル(けんしん郡山文化センター中ホール)
	12月	第36回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(ふくしん夢の音楽堂大ホール)銅賞

1992年、中世・ルネサンス、バロック時代の合唱曲を演奏することを目的に、同好の士を募り設立された一般の混声合唱団である。会員は、福島県内外の公務員・会社員・学生など職業、年齢層も多岐にわたっている。設立以来、ほぼ年1回定期演奏会を開催し、その中で節目の15周年にはモーツァルト「レクイエム」、20周年にはフォーレ「レクイエム」に取り組んだ。また、これまでに3回の海外演奏会（1993年にはウィーン、オーバーバルト、ザルツブルク、ミュンヘン各地での演奏、1999年にはフランス・マルセイユにおけるガブリエル・フォーレ合唱団との日仏親善ジョイント・コンサート、2004年にはオーストリア・フォラウ修道院での特別演奏）も実施してきた。

2011年2月からは、宍戸真市氏を常任指揮者にお迎えし、月1~2回程度の定期練習を通じて、古楽の魅力である「優れた音律（チューニング）」と「各声部の完璧な調律（ブレンド）」を目指し活動している。また、全日本合唱コンクールや宝塚国際室内合唱コンクールなどにも積極的に参加しており、2012年には、全日本合唱コンクール全国大会にて銅賞を受賞した。

最近では、2013年と2014年に震災からの復興を祈念し京都府長岡京市で開催されたHarmony for JAPANへの参加をきっかけに、関西の合唱団とも交流を深めており、2015年と2016年には京都パッパ合唱団（主宰：本山秀毅氏）と共演するなど、演奏の幅を広げながら活動を続けている。



安積合唱協会 役員

理事長	曳地 利光	パートリーダー	ソプラノ	志賀 香織
副理事長	浦部 真平		アルト	山本 清子
指揮	志賀 香織		テノール	渡邊 佳文
	穴戸 みゆき		ベース	浦部 真平
総務担当理事	志賀 一郎	パートマネージャー	ソプラノ	浦部 智子
人事担当理事	中川 円		アルト	櫻村 貴久子
経理担当理事	齋藤 由紀夫		テノール	仁井 敏昭
企画担当理事	乙高 広幸		ベース	渡辺 均
監事	数馬 雅子			
事務局長	金成 聡司			

安積合唱協会 団員

ソプラノ	志賀 香織	乙高 宣子	浦部 智子	数馬 雅子	中川 円	穴戸みゆき
	諸岡 唯	神保 明子	阿久津光美	加藤 順子	羽田奈恵子	関 由紀子
	生田目友美	佐藤 優子	梅宮 優季			
アルト	山本 清子	櫻村貴久子	矢野 夏子	塚本 朋子	森 希伊子	金山美和子
	服部 美桜	関根久美子	丹野 美佳	末永 幸恵		
テノール	渡邊 佳文	金成 聡司	曳地 利光	齋藤由紀夫	仁井 敏昭	古川 隼斗
	酒井 道宏					
ベース	浦部 真平	六角 弘通	渡辺 均	志賀 一郎	乙高 広幸	武藤 克則
	望月 浩吉	桑原 一夫				

賛助会員 個人 (50音順・敬称略)

大友 範行	1口	武藤 孝幸	1口	渡部 京子	1口
金成 文恵	2口	武藤 春美	1口	渡部 芳雄	1口
佐藤 禮子	1口	渡邊 恵智子	1口	渡辺 正恵	2口

賛助会員 団体 (敬称略)

安積野・菓子処 平田屋	1口	カウンセリングルーム ののはな	1口
株式会社コーケン	10口	ホンダカーズ福島 郡山川向店	1口

安積合唱協会 会員募集中

- 練習日程 月に1~2回(土・日曜日や祝日)、9:30~16:30(昼休み1時間)。
- 練習場所 主に郡山市内および近郊の練習会場。(県内外の各方面からの相乗りも可能)。

詳細については、練習見学においていただくか、事務局へお問い合わせください。

▶安積合唱協会事務局 TEL 090-3640-4322(金成)
E-mail: asaka.chorverein@gmail.com
ホームページ URL: http://www.asakachorverein.com/



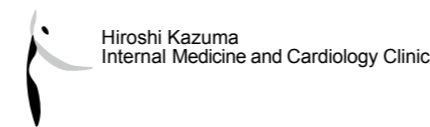
ネットヨタ郡山株式会社 本社緑町店

〒963-8023 郡山市緑町17番8号
TEL 024-927-5885(代) FAX 024-927-5886
https://netz-kooriyama.co.jp/

JA 福島厚生連 塙厚生病院

院長 佐川 恵一
〒963-5493 福島県東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5
TEL (0247)43-1145 FAX (0247)43-3394
https://www.hanawa-fkousei.jp/

はなわ訪問看護ステーション	TEL (0247)43-0073 FAX (0247)43-0073
塙厚生病院居宅介護支援事業所	TEL (0247)43-1105 FAX (0247)43-1394
介護老人保健施設「久慈の郷」	TEL (0247)43-1101 FAX (0247)43-2520



Hiroshi Kazuma
Internal Medicine and Cardiology Clinic

【診療時間】

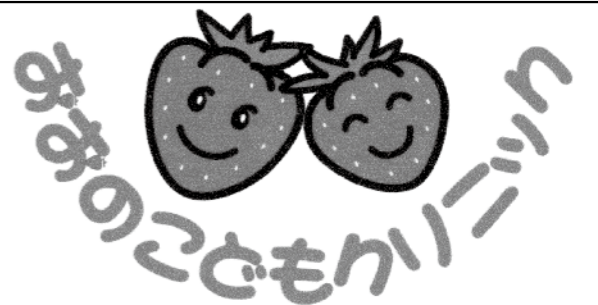
	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	休診	●	●	●	●	●
午後 3:00~7:00	休診	●	午後 休診	●	●	●

休診日/月曜、日曜・祝祭日、水曜午後

かずま医院

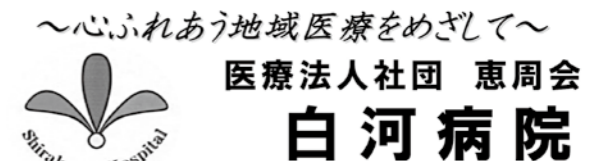
内科/循環器科/呼吸器科/外科

医学博士 数馬 博
〒963-8862 郡山市菜根一丁目15-2 Tel.024-934-7750



院長 大野 広衛

〒963-8844 福島県郡山市字賀庄 54-1
TEL 024-937-3775 FAX 024-937-3776
e-mail koei@safins.ne.jp



医療法人社団 恵周会
白河病院

理事長 本田 恒雄

救急病院
福島県白河市六反山 10-1
☎0248-23-2700

【外来診療科目】

- 内科 ● 外科
- 整形外科 ● 脳神経外科
- 循環器内科 ● 心臓血管外科
- 消化器科 ● 麻酔科
- 腎臓内科 ● 糖尿病内科
- リウマチ科 ● 人工透析科



JA 福島厚生連 白河厚生総合病院

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2-1
TEL (0248) 22-2211 FAX (0248) 22-2218
URL <http://www.shirakawa-kosei.jp>

【受付時間】8:00~11:30

【休診日】日曜日、祝日、第1・3土曜日、8月16日、12月30日~1月3日

~ PET-CT がん検診を実施しております ~

- しらかわ訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 農村検診センター
- 付属高等看護学院
- PET 画像診断センター

日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院



一般財団法人慈山会医学研究所付属

坪井病院

理事長 坪井永保 院長 原口秀司

福島県郡山市安積町長久保一丁目10番地13
電話 024-946-0808
<http://www.tsuboi-hp.or.jp>

訪問看護ステーション
ケアステーションあすなろ
福島県郡山市駅前一丁目12番3号
TEL 024-923-5121

■ 事業内容

設備	清掃	建築	警備
◎電気・空調・給排水・消防 ◎情報通信・搬送・工事診断	◎日常メンテナンス ◎定期メンテナンス ◎特別メンテナンス	◎新築工事 ◎リフォーム&リニューアル ◎建物調査診断 ◎建築資機材の販売 ◎不動産事業	◎施設警備 ◎交通誘導雑踏警備 ◎機械警備・巡回警備 ◎保安警備
サービス	マンション管理	ホテル・旅館	駐車場
◎インフォメーション ◎スポーツ施設管理	◎基幹事務管理 ◎管理員業務 ◎維持管理業務	◎客室整備・パブリック ◎フロント業務	◎駐車場管理 ◎駐車場運営
環境衛生	資産運営管理	太平洋隔管理システム	その他
◎ビル衛生管理 ◎病院衛生管理 ◎廃棄物処理	◎プロパティマネジメント ◎ビルマネジメント ◎ビルコンサルティング サービス	◎TaRMS	◎人材派遣 ◎医療補助業務 ◎造園及び植栽



全国どこでも 太平ビルサービスへ
いつでもお気軽にお電話ください。

▶ 全国営業網

太平ビルサービス株式会社

郡山支店

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町21-10 EME郡山ビル2F
電話番号 024-933-0728 FAX番号 024-933-5754
ホームページ <http://www.taihei-bs.co.jp/>



人を中心としたオートメーション

建物から社会へ、地球環境へ

アズビル株式会社

ビルシステムカンパニー 福島営業所 024-935-7860

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町2-11 郡山虎丸町第一生命ビル
<http://www.azbil.com/jp/>

株式会社から社名を変更いたしました。

「日本一」のふくしまをつくる



福島民報社
ご購読のお申し込み
☎0120-373-437
E-mail: hanbai@fukushima-minpo.co.jp

地域とハーモニーを奏でる

nisshindo group

(株)日進堂印刷所
本社: 福島市庄野字柿場1-1 (福島西工業団地)
支社: 郡山・浜みらい・仙台・東京
TEL 024-594-2211 (代) FAX 024-594-2041

トキワ印刷(株) (製書印刷・商業印刷・エコ事業)

(株)進和クリエイティブセンター (編集・デザイン)

(株)エス・シー・シー (企画出版・タウン誌発行)

日進堂印刷所 PRキャラクター

ピアノシモからフォルテシモまで
多彩なデザインを!

Shinwa Creative Center
ふれあいの心をそだてる
株式会社 進和クリエイティブセンター

企画プランニング、デザイン、コピーライティング、編集、取材執筆、撮影、イラストレーション、外国語翻訳、テーブル起こしライト、各種広告物、POP、出版・刊行物の企画・編集・制作、各種映像ソフトの企画・制作、CI計画

〒960-2194 福島市庄野字柿場1-1 TEL (024) 594-2145 FAX (024) 594-2147
<https://www.nisshindo.jp/creative.html>